



第10回例会

平成18年9月13日(水)  
永京寺

本日のプログラム

- 1 開会点鐘
- 2 ロータリーソング 奉仕の理想
- 3 四つのテスト
- 4 会長挨拶
- 5 幹事報告
- 6 閉会点鐘
- 7 大野順道会員スピーチ



会長挨拶

齋藤 ミヨ会長



おはようございます。  
本日は、朝早くより大野会員の永京寺さんに大変お世話になり、恒例となっております、早朝例会でございます。  
昔から、『早起きは三文の得』と言われておりますが、本日は、ありがたさ、みぐみの徳をいただけることが、大変うれしく思います。  
この頃、痛ましい事件が多く報道され、大変心を痛めております。“命の大切さ”“思いやりの心” 生きる喜びを私たちは、忘れてはいけません。  
誰でも、誰かのおかげで今日一日があります。どんなに偉い方、有名人でもいつも誰かの陰の支えがあり、誰かのお世話になって今日があると思います。私達も本日ここにこうしていただけるのも、先祖が居て、父母が居て、友達が居て、数々の限りのない方に支えられているお陰だと思います。お陰をいただいていることに対し、感謝をし、奉仕で、返さねばと思っております。

人生を行ったり来たり、お互い持ちつ持たれつ、生かされております。  
本日は、座禅の一語の『自分が自分になる』をひめて、大野和尚さんよりご指導をいただきたいと思っております。  
よろしくお願い致します。

会員スピーチ



大野 順道  
皆さん、こんにちは。ようこそおいで下さいました。猛暑が続いたこの夏の終わりを告げるように、ようやく朝晩涼しさを増して参りました。坐禅をするにはまさに好時節の朝でございます。

本日指導していただきます和尚さんは、飯野の大桂寺の青木法彦住職です。この永京寺は今から577年前の1427年育芳禅師によって開山されたと、言われています。現在は臨済宗妙心寺派で清水山という山号です。近くに、同じ宗派の寺院は黒岩の満願寺、小倉寺の大蔵寺があります。禅宗には、曹洞宗、黄檗宗と臨済宗がありますが、永京寺は臨済宗です。人は、生きている限り、何かを決断をして行動しています。毎日、起きてから寝るまで意志決定の連続です。それを決定するとき、よりどころをどこに求めたら良いのでしょうか。時に、自我(自分は、自分だけは、と思うころ)により、自分自身が迷ったり、悩んだり、苦しむことさえあります。「心こそ心迷わず心なれ 心に心ゆるすな」と古人も言われています。どうしたら自我に振り回されないでいられるのでしょうか。それは、体を調べ、呼吸を調べ、心を調べてもらえる坐禅によって、真実の自己に目覚めることができ、これをよりどころとするということです。  
真実の自己とは無の心です。  
無の心は何も無いことではありません。水が、どんな器にも応じるように、自由に物事に柔軟に応じていくことです。坐禅は、本来何かの利益を得るためをするものではありませんが、結果として、多くの効用があります。



一日一度は身体と呼吸と心を静かに坐り和やかに生かしましょう。

生かされている自分を感謝し報恩の行を積みましよう。

す。健康、忍耐、活力等が得られます。  
本日は、坐禅とお粥を召し上がっていただき、短い時間ですが、禅寺の雰囲気味わっていただければ、幸いです。ありがとうございました。

今月・来月のプログラム

- 9月29日(金) 地区大会記念親善ゴルフ大会 (鹿島CC)
- 9月30日(土) 奉仕プロジェクト委員会研修セミナー (郡山市)
- 10月1日(日) 福島21RCとの親善ソフトボール大会 (荒川グラウンド)
- 10月4日(水) ゲストスピーチ  
国交省福島河川国道事務所長
- 10月11日(水) ゲストスピーチ  
米山奨学生 李錦淑 さん

編集担当者 高橋 正一